

謹啓時下有料候

閣下益々清静候

御座候事

寺カ身候

リ拙事本條第五五中

婦子下り寺子來候

其光景を見満り候

梅先を制せし気味候

六分の勝利を獲ん候



ふらの勝利を獲ん然し

支那の作事進し苦難し

事故の志名の案論あり

整はず候向もあらん
ト云

昨今種々謝りし
持え
えと

甲斐道の有カ家なる早田

菊地は重なりし西の子所

谷らよりち苦果下し

五ヶ所なり一人ボも大

はづみを増しト云此等

免しせざるに道歩し命を

免しせずして運動し合を

指のんてよ儀を期せ

いれんるし奉存

第二五〇 安部井平島

菊家彦 かて是に此十音

井ノ子 臨時存年 儀

送るし儀 取上其儀

取を決す家内 地安 地安と

と

第三五〇 秋虎 此論

らまを あすは先はず

第四五〇

柴田朗

對

日下義雄

佐原孝平

沼口日野

第四十五

柴田朗

佐原孝平

對 日下義雄
浪口日得

日下、井上の御後好

自由黨の候補者である

彼らは上野党の派系争い

落選を在野派の波に押し

は押し込まれ去るを体

我黨の波に押し込まれ

由來の波に我黨を獨

自坊ありが日下、中この

金持故を流すは

娘の子を午を信の教

稼子とて、午去、後、辰の數

拾一、子、有、し、子、有、し、
子丸

第五子

我、竟、川、馬、四分、純

自由、竟、空、系、二分

何、肥、滋、兵、峰、四分、弱

お、題、し、通、了、先、便、の、
子丸

今、の、安、武、川、馬、と、我

論、西、の、丸、子、と、傳、子、丸

何、の、走、り、堂、の、子、丸

期、く、て、先、後、際、ら、合、体、を

通、下、て、我、堂、の、四、人、を

獲、る、法、の、子、丸

獲ふ海へともて

何れもはたのちのち

重しと拙子依り奉

飯をおすふ事故の志

一日敬言戒は居候候

乍輕亦片安神

神下あり神子願候

^{心拙}事^心の^心莫三五

出為るに取候候

侍生先^心右よ

御^心候

小拙
車馬
莫三五

出為之
取核
共

得生
先
右
下
家

有
好
好

三
日
八

濤

大隈
伯
馬
時
窓
下

乍
竹
事
末

為
因
家
中
自
死

稱
給
度
幸
禱
上
候
如
是

政況報告書

新野
縣



帛